

授業改善推進プラン【社会科】

谷戸第二小学校

1 調査結果の分析

< 関心・意欲・態度 >

社会科への興味・関心は高く、見学や調べ学習に意欲をもって取り組む一方で、覚えることが多い科目としてとらえがちの児童には、苦手意識が高い。

< 思考・判断・表現 >

資料から分かることだけを選び取ったり、読み取った事実から自分なりの考えを導き出したりすることを苦手とする児童が多い。特に複数の情報を結びつけて考えることができない傾向にある。

< 技能 >

身に付けた知識や感じたことを言葉にして表現する力に個人差が大きい。また、地図記号、八方位、縮尺等の読み取り、資料の読み取りが十分ではない。

< 知識・理解 >

地図帳や地球儀、資料集の扱い方、東京都や他の道府県の位置と名称、地形・気候、交通、特産物等、歴史上の出来事や人物の名前など、正確な知識が未定着の傾向がある。



2 授業改善の方策

< 関心・意欲・態度 >

- ・ **児童にとって身近な題材**を教材化するなど、児童が意欲的に活動できる学習を展開していく。
- ・ ICTを活用するなど、児童の意欲を引き出す工夫をする。

< 思考・判断・表現 >

- ・ 資料の見方をおさえ、数値の変化や、他の資料との異同等に着目し、自分の考えをまとめることができるように適切な発問や指示を適宜行う。
- ・ 個の読み取りを共有できるように、少人数での話し合いを取り入れる。
- ・ **資料から分かることを挙げて分類させ、そこから児童が内容に合ったタイトルをつけることで考えを深めさせる。(KJ法)**

< 技能 >

- ・ **地図や地球儀、年表、資料集などを用いた調べ学習を行う際、読み取り方を繰り返し指導する。**
- ・ 分かったことを文章や図、表などにまとめたり、話し合ったりして読み取る力を高める。
- ・ **1つの資料から様々な視点で考えさせる問題から、複数の資料から共通するキーワードを考えたり、関連付けをさせたりする問題へと、段階的に指導し、資料活用能力を高める。**

< 知識・理解 >

- ・ 身に付けさせたい項目が多いので、家庭学習でも取り組めるように指導計画を立てる。また、学習内容を整理したり、フラッシュカード等を用いて確認したりする時間を設ける。
- ・ 地図帳や資料集を辞書のように使う指導をする。
- ・ **1時間の授業でおさえたい用語に関しては、授業のまとめ時に全体で確認をする。また、用語を活用する機会を作り、確実に定着させるようにする。**



3 活用につながる指導

学習を進める中で出てきた新たな疑問をさらに追究する時間を設定し、問題解決の力を育てる。また発展的な学習については**地域の実態や総合的な学習の時間との関連**も図っていく。